

## 新潟県支部だより

平成28年7月

### 7月3日(日) 総会・研修会終了

時折強い雨の降る7月3日、30名の参加申し込みを得て、大学より湘南校舎キャリア支援課課長補佐 渡辺絹枝様、文学部 英米語英米文学科専任講師 森本奈理様をお迎えし、総会・研修会・情報交換会を実施することができました。

参加いただいた皆様ありがとうございました。

#### 総会では

- (1) 平成27年度活動報告
  - (2) 平成27年度会計報告 監査報告
  - (3) 平成28年度活動計画
  - (4) 平成28年度予算
  - (5) 支部委員等選出
  - (6) 支部規約改正
- を協議し、いずれも提案どおりに承認をいただきました。

今年度事業は、総会・研修会を終了し、次は11月27日(日)の個人面談と就職研修会をアトリウム長岡で開催します。この案内は10月初めに発送の予定です。今から予定に入れていただけるとありがたいです。

#### 派遣講師講話より

渡辺様からは「今春卒業生の就職状況報告と今後の動向」、森本様からは「教員・公務員・企業就職について」と題して講話をしてもらいました。その一部を紹介します。

渡辺様からは、文教大生の就職活動が成果をあげていることを多くのデータで示してもらいました。特に3年生全員との個人面談で就職活動への構えを作り、その後もメール・電話で連絡をとり面談していること。「遠くの親戚より近くの他人の気持ちで学生の面倒をみていきたい。お任せください。」と話されました。

就職活動の前提として、学生の本文である学びと単位の取得。自分自身を理解して自分に自信を持つことができる学生を育てる。本人が気づいていない良さを面談で見つけてやる。などのお話もありました。

森本様からは企業就職対策として、◇「自分はこの業界に向いているんだ!」と自分を洗脳する。そうしないと当事者意識を持って「企業研究」ができない。◇当たり前のことを当たり前としてこなし実績をアピールする。例えば授業を休まずに出席したなど。を話されました。

また授業で学生を見ているので学生に合った企業を紹介してもらえるようにキャリア支援課に連れていくこともあるとのことでした。

お二人が強調されていたことは、大学にはキャリア支援課、学生支援室、保健センターなど学生支援の場があるので学生に利用を勧めている。これらは保護者からの相談にも対応するので利用してほしいとのことでした。

## キャンパス別懇談会

講話が就職活動中心になりましたが、懇談会ではアルバイトと学業の両立、単位の取得など保護者の不明な点を講師の方から話してもらったり、保護者の経験を交流させたりしました。

アルバイトと学業の関係では、

塾講師の場合、担当する指導時間が多くなると、その準備の時間も増えてしまい結果として自分が勉強する時間がなくなってしまう。夜のアルバイトは、生活リズムの昼夜の逆転も起きる可能性がある。就職活動中のアルバイトは「気分転換」程度にとの話もありました。

キャンパス別懇談会は講師と保護者が直接話をする事ができる機会です。不明な点を出し合うことで学生の現状を理解したり、対応を考えたりすることができます。11月27日(日)には個人面談もあります。どうぞご利用ください。

## 情報交換会

講師を囲んで、和やかに交流を深めることができました。多くの皆様が情報交換会に参加くださることを願っています。

## 11月27日(日) 個人面談・就職研修会開催 会場：アトリウム長岡

おおよその日程・内容を紹介します。なお案内・参加申込は、往復はがきを10月初めに発送します。

11:00 個人面談(キャンパス別に行います。)

13:00 就職研修会 ①県内就職状況説明 ②大学派遣講師の講話  
③学生より就職活動体験発表 ④質問

16:00 情報交換会

*多くの皆様の参加をお待ちしています。*

## 会費納入のお願い

支部運営の資金は皆様が父母教本部へ納めた会費10,000円の中から2,000円が支部に交付されたものです。本年度は在籍者数242名、現在の納入者数は162名です。新潟県支部では、今年度①総会・研修会 ②個人面談・就職研修会を実施します。他支部に比べればかなり充実した内容になっていると思いますが、交付金だけでは不足し支部活動特別援助金を申請し補っています。しかし援助金も上限があり厳しいところです。会費納入につきまして皆様のご協力をよろしくお願い致します。

父母教のホームページ内に支部のページもあります。総会要項、事業報告等を掲載しています。ご覧ください。

文教大学父母と教職員の会  
新潟県支部  
支部長 小林民弥